

医療関係者100人 室蘭で意見交換

14日に14年ぶり

日本医療マネジメント学会の第18回北海道支部学術集会が14日、14年ぶりに室蘭市の製鉄記念室蘭病院で開かれる。医療関係者約100人が「医療の質の向上」について意見を交わす。

医療関係者向けで、室蘭では2004年に同病院の前身の新日鉄室蘭総合病院で開催して以来、2回目。

特別講演として、国立病院機構北海道がんセンターの加藤秀則院長が「がん診療の質の向上について」、京大大学院医学研究科の今中雄一教授が「これからの医療介護経営と可視化の展開」と題して演壇に立つ。

このほか道内の病院関係者が計22テーマについて講演する。

(生田憲)